

「ネガティブ・ケイパビリティ」という可能性を信じる力、まさに答えのない事態に耐える力、『ネガティブ・ケイパビリティ』が高まっているという情報に出会いました。

既にご存知の方も多いかもかもしれませんが、そうかと、凄くほっとするような言葉を感じています。ポジティブがいいという思いが染みついているようないま、こんなことをおっしゃる管理職の方もいらっしゃいましたとのお話の一部ですが、「以前は、迷ったり悩んだりしていることが管理職としてだめなところだと思っていたけれど、部下それぞれに個性があり、次々やることが出てくるから、迷ったり悩んだりすることがむしろ必要だと思えるようになった。悩むことへの意識が変わった」。管理職は「正解をすぐに示さないといけない」「いかなるときも即断即決しなければならない」「正しい方向に部下を導かなければいけない」と思っていたらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

「ネガティブ・ケイパビリティというポジティブな力」よりご参照ください。(菅野)

<https://note.com/visioncrafting/n/nfdb23d9794a8>

## 目次

### 1 相談員からのメッセージ

—[「メンタルヘルス」のありようと「ネガティブ・ケイパビリティ」をめぐって]—

### 2 関連情報

#### 1 相談員からのメッセージ

\*ご快諾ありがとうございます

—[「メンタルヘルス」のありようと「ネガティブ・ケイパビリティ」をめぐって]—

産業保健相談員 久留 一郎

(鹿児島大学名誉教授・鹿児島純心大学名誉教授)

(担当分野：カウンセリング)

鹿児島産業保健総合支援センター <https://kagoshimas.johas.go.jp>

「メンタルヘルス」の世界は曖昧模糊とした、アナログ的な精神心理の世界が広がっているように見える。例えば、デジタル的なエビデンス中心（MRI,レントゲン検査など）のポジティブ・ケイパビリティの世界とはかなり異なった世界がある。

「夜の山の中で怪しげなモノがうごめいている」という噂を確認するため村人が警備に入ることになった。村人は松明を掲げその怪しげな正体を捉えたいがよくわからない。そのとき警備隊の隊長は村人に「明かりを消せ」と命じます。山の中は真っ暗になり何も見えなくなるが、村人は目をこらし、匂いをかぎ、空気の流れに肌を晒します。

暫くすると暗闇になれた目に見えないモノがそっと浮かび上がってきたり、聞こえない音がかすかに感じられたりするようになる。私たちのデジタルな明るさになれた視力

(眼)、聴力(耳)、などの感覚では「メンタルヘルスの世界」は捉えにくい。例えば、不安は「感じるができる」が、形も重さも匂いもない。何グラムの不安？どんな形の不安なのか？ポジティブ・ケイパビリティ(デジタル)の世界ではより強いあかりを求め

隅々まで照らす。実はエビデンス（モノ）が存在していても、明かりに慣れた目は隅々の暗闇は見えなくなる。

ここにメンタルヘルスを行う人間が見損ない、聞き損ないをする危険性が見え隠れするメンタルヘルスの世界においては、「声なきに聞き」、「形なきに見る」（川路大警視、出典：中国の四書五経）というアナログ的な人間的感性が求められるようである。

ところで、相談員からのメッセージとしては、デジタルの代表格である「AI」がメンタルヘルスの世界で活用できるとすれば、どんな状況だろうかと思案するこのごろである。

※お気持ちをわかろうとする姿勢や感性を磨くことの大切さなどを思い起こさせます。また例えがとても実感できます。有難うございます。（菅野）

## 2 関連情報

### ◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス

#### (1) 新型コロナワクチンに係る自治体向け通知・事務連絡等

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8xU5F045-t\\_g3d5hY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8xU5F045-t_g3d5hY)

#### ○「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（第21版）」

令和5年12月4日版 [PDF形式：7MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/001209500.pdf>

#### (2) 2023年度第7回雇用政策研究会資料を掲載しました。

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8xU-\\_wP5VBirlGxhY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8xU-_wP5VBirlGxhY)

議題 1. 女性の多様なキャリア形成・働き方（職場における女性特有の健康課題）

2. 地域雇用・外国人労働者

配付資料

[議事次第 \[PDF形式：47KB\]](#)

[【資料1】野村委員提出資料 \[PDF形式：4.0MB\]](#)

[【資料2】2023年度第7回雇用政策研究会 論点等 \[PDF形式：762KB\]](#)

[【資料3】2023年度第7回雇用政策研究会 関係資料集 \[PDF形式：1.8MB\]](#)

[【資料4】井上委員提出資料 \[PDF形式：2.0MB\]](#)

[【資料5】是川委員提出資料 \[PDF形式：2.9MB\]](#)

#### (3) 「ヘルスタ・アイデア・ボックス！」を開設します

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wyUIK1F\\_9vP7XclRY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wyUIK1F_9vP7XclRY)

「ヘルスタ・アイデア・ボックス！」について

塩崎政務官をチームリーダーとする「ヘルスケアスタートアップ等の振興・支援策検討プロジェクトチーム」（ヘルスタPT）において、チームメンバーだけではなく国民の皆様からもヘルスケアスタートアップ振興に関する課題認識や政策提案を本御意見フォームを通

じて広く募集します！

**募集期間** 令和6年2月7日（水）～令和6年3月31日（日）

**投稿方法** 投稿方法については、こちらの御意見フォームを御参照ください。

御意見フォーム：[https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/202402\\_01\\_3141592](https://www.mhlw.go.jp/form/pub/mhlw01/202402_01_3141592)

◇ J I L P T から

(1) 資料シリーズ No.272

『就職氷河期世代のキャリアと意識—困難を抱える20人のインタビュー調査から』

<https://www.jil.go.jp/institute/siryo/2024/272.html?mm=1935>

<氷河期世代のキャリアの困難はヨーヨー型>

就職氷河期世代であっても、新卒で初職正社員のケースは少なくない。ただし今回のインタビューでは新卒正社員であっても「不本意正規」とでも呼べるような労働条件の悪い就職先であり、また正社員経験はあるが何度か正社員を離職し、正社員と非正社員を行きつ戻りつしたり、あるいは無業・失業をたびたび経験するキャリアが多数存在していた。

(2) 過労死等防止調査研究センター 研究成果発表シンポジウム／労働安全衛生総合研究所

労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センターは3月11日(月)、研究成果発表シンポジウムを会場（都内港区）とオンラインで開催する。過労死等の実態把握、発生メカニズムの解明及び効果的な防止対策などの同センターの9年間にわたる調査研究が2023年度で完了する。これまでの調査研究成果を振り返り、研究課題について意見交換を行う。発表のほか、講演「職場のメンタルヘルス向上と研究上の課題」、総合討論「過重労働・過労死等の予防のために研究すべきこと」など。参加無料、要事前登録。会場は先着50名、WEB参加も定員に達し次第締切り。

<https://records.johas.go.jp/news/r5sympo>

(3) 復職・就労支援のための「リワーク」に関する説明会／東京都

東京都は2月28日(水)、「リワーク」に関する説明会をオンラインで開催する。

「リワーク」とは、心の健康問題により休業した労働者が、職場に復帰する際に行う準備のこと。第1部の「復職コース」では、紹介動画の視聴、リワークの特徴を説明し、第2部の「就労／復学・進学コース」では、紹介動画の視聴を行う。また、来年度からの新たな取り組みとして、在学中や休職に至っていない在職者受け入れの案内もする。対象は、都内企業及び関係機関のメンタルヘルス部門担当者等。参加無料、申込締切2月21日(水)

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/chusou/kouenkaiboshu/R5deikeasetsumeikai2.html>

(4) 外国人労働者数200万人超、過去最高を更新／厚労省

厚生労働省は26日、外国人雇用についての事業主からの届出状況を公表した。

2023年10月末現在の外国人労働者数は204万8,675人で、前年比22万5,950人(2.4%)増加し、届出が義務化された2007年以降、過去最高を更新。外国人を雇用する事業所数は31万8,775か所で、同1万9,985か所(6.7%)増加し、過去最高を更新。国籍別で

は、ベトナムの51万8,364人（外国人労働者数全体の25.3%）が最多、次いで中国39万7,918人（同19.4%）、フィリピン22万6,846人（同11.1%）。在留資格別で対前年増加率が最も大きかったのは「専門的・技術的分野の在留資格」で59万5,904人（前年比11万5,955人・24.2%増）、次いで「技能実習」が41万2,501人（前年比6万9,247人・20.2%増）、「資格外活動」が35万2,581人（前年比2万1,671人・6.5%増）。一方、「特定活動」は7万1,676人、前年比1,687人（2.3%）減少。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_37084.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37084.html)

▽「外国人雇用状況」の届出状況（概要版）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/001195785.pdf>

#### (5) 「家事使用人の雇用ガイドライン」を策定／厚労省

厚生労働省は8日、「家事使用人の雇用ガイドライン」の策定を公表した。

個人宅に出向き、直接労働契約を結び、その指示のもと家事一般に従事する家事使用人は、労働契約法の適用は受けるが、労働基準法は適用除外とされている。労働政策研究・研修機構「家事使用人の実態把握のためのアンケート調査」（2023年9月公表）では、業務内容や就業時間などが不明確なため契約をめぐるトラブルや、就業中のケガに対する補償が不十分などの問題が一部にあると分かり、本ガイドラインを策定した。厚労省は、家事使用人を雇う家庭、家事使用人本人および家政婦（夫）紹介所などの関係者に、家事使用人が働きやすい環境の確保がなされるよう、周知を図っていくとしている。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_37762.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37762.html)

▽家事使用人の雇用ガイドライン

<https://www.mhlw.go.jp/content/001206477.pdf>

▽労働政策研究・研修機構調査シリーズ No.230『家事使用人の実態把握のためのアンケート調査』

<https://www.jil.go.jp/institute/research/2023/230.html?mm=1938>

#### (6) 健康状態に起因する事業用自動車の事故件数は高止まり／国交省協議会

国土交通省は7日、主要疾病等の早期発見のためのスクリーニング検査の普及や、事業用自動車の健康起因事故防止の取り組みを検討する「事業用自動車健康起因事故対策協議会」を開催した。健康状態に起因する事故報告件数は、2022年は313件で高止まりの状況（資料1）。バス、タクシー、トラック事業者に対する健康起因事故防止の取り組みに関するアンケート調査結果（資料2）によると、国土交通省のガイドラインの認知度は各業界で75%から98%。一方、脳血管疾患、心臓疾患等のスクリーニング検査の受診状況は、タクシー、トラックではいずれも10%～30%台、バスでも心臓疾患等受診率は20%にとどまった。検査未受診の理由として、検査費用が高額、人員配置上の余裕がない、などが挙げられている。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02\\_hh\\_000618.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000618.html)

▽資料

[https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidousya\\_ansei.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidousya_ansei.html)

(7) 「プロドライバーの飲酒運転防止、健康管理・労務管理の向上による事故防止に関するセミナー」／国交省

国土交通省では2月22日(木)、事業用自動車の運転者の飲酒運転防止及び健康や過労による事故防止のため、運送事業者等を対象としたセミナーを会場（都内・港区）とオンラインで開催する。飲酒運転対策と、労働時間・健康起因事故防止について2部構成で講演を行う（委託先：SOMPOリスクマネジメント）。

参加無料。事前にWEBで申し込む。先着順、定員：会場200名、オンライン900名。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001722573.pdf>

(8) キャリアコンサルタント向けのオンライン研修／厚労省

厚生労働省は2023年度委託事業「中長期的なキャリア形成を支援するためのキャリアコンサルタント向け研修」の一環として、2月に「多様な働き方を支援する研修」、「企業内でのキャリア支援をする研修」、「キャリアコンサルタントの資質と能力向上を目指すスーパービジョン研修」のテーマでライブ型オンライン研修を開催する（委託先：大原学園）。Zoomと、定員超過の場合はYouTube配信で行う。YouTube配信での視聴は、人事労務担当者などのキャリア形成に携わる人等は、キャリアコンサルタント資格所有者以外も申し込める。参加無料、要事前申込。

<https://kunren-careerconsultant.mhlw.go.jp/live.html>

(9) 講演会「これからの少子化対策」資料掲載／財務省

財務省・財務総合研究所は、1月26日に開催された講演会「これからの少子化対策—『働き方の柔軟化』『労働時間短縮』『育児支援』—」資料をHPに掲載した。外部有識者による同研究所内講演会の資料。

<https://www.mof.go.jp/pri/research/seminar/fy2023/lm20240126.pdf>

◇ 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

(1) 健康長寿に必要なのは「よく食べ・よく動く」こと

高齢者の死亡リスクを下げる食事は歩数が決め手に

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/axequeuxzkvq6/cntht64v/>

(2) 大腸がんは早期発見でほぼ100%治療できる

検査や治療は進歩 検診を受けることが大切

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/68s1j4d3izz6/cntht64v/>

3月は「大腸がん啓発月間」だ。

大腸がんは、日本人にもっとも多いがんで、2022年にがんで亡くなった人の部位別で見ると、大腸がんは、男性では第2位。女性では第1位になっている。(略)

たとえ大腸がんになっても、ごく初期に発見できれば、ほぼ100%治療することができる。早期発見のためにもっとも大切なのは、「検診を定期的に受けること」だ。

(3) 若い男性の10人に1人以上が代謝障害にともなう「脂肪肝」

自分の体質や体重に対する誤った理解も 肥満やメタボの原因に

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/c0w2bqbqeshv/cnht64v/>

脂肪性肝疾患の新しい定義として2023年に、「代謝性機能障害にともなう脂肪性肝疾患(MASLD)」が提唱された。これは、脂肪肝と肥満や糖尿病などの代謝異常を合わせた新しい見方で、「危険な脂肪肝」を早期に発見して対策するために提唱されたものだ。

◇ 産業医学振興財団メールマガジン から

産業保健実践講習会 大阪会場（令和6年5月12日（日曜）開催）の受付を2月26日（月）正午から開始いたします。

- 
1. 対象者： 産業医、保健師、看護師、衛生管理者、衛生推進者等
  2. 取得単位： 日本医師会認定産業医制度産業医学研修の単位（生涯研修）  
日本産業衛生学会の産業保健看護専門家制度の研修単位
  3. 受講料： 20,000円
  4. 受付期間： 2月26日（月）正午～ 定員に達するまで
- 本講習会は、日本医師会認定産業医制度の研修として、生涯研修の単位取得が可能です（専門3.5単位、更新1単位、実地1.5単位の計6単位）。

◇ ◆【From\_M】 から 情報提供有難うございます

◆【人事労務担当者が支える本質的な健康経営とは？】

産業医と協同する戦略的な実践方法 2/14（水）13:30～無料ウェビナー  
産業医科大学産業衛生教授の浜口伝博先生ご登壇！

オンラインにてセミナーを開催 株式会社エムステージ

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000008.000137317.html>

◆厚生労働省「こころの耳」被災者に対するこころのケア

（被災者やその家族、支援者などの方へ）

害被災者のための心と健康の相談ダイヤル（フリーダイヤル）のページにリンクを貼りました。

<https://kokoro.mhlw.go.jp/victims/>

◆ストレス・災害時こころの情報支援センター

<https://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/>

◆厚生労働省「災害とこころの健康」

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/heart/k-06-002.html>

◆《動画》いつもの作業の「化学製品」適切に管理していますか？ ※30秒動画編

<https://www.youtube.com/watch?v=Wq3iodwS594>

- ◆「余命2年」宣告から7年超 アスベスト原因のがん・中皮腫で「呼吸するのも苦しい」 仲間の遺志継ぎ患者同士の交流続ける男性「僕より先に死なないで」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/432c9225d271d80e276930ce6ce616f3d49aab4e>

かつて、建物の断熱材などに使われていた「アスベスト」。知らず知らずのうちに吸い込み、がんを発症する人も多くいます。

- ◆HPV ワクチンと子宮頸がん検診の動向～2022年度に3回目接種者数は対象人口の3割超。男性のワクチン定期接種化に向けた議論開始、HPV検査が公的がん検診に追加  
：基礎研レポート...：ニッセイ基礎研究所

[https://www.nli-research.co.jp/files/topics/77469\\_ext\\_18\\_0.pdf?site=nli](https://www.nli-research.co.jp/files/topics/77469_ext_18_0.pdf?site=nli)

要旨

「日本人の2人に1人は、生涯において一度はがんになる」と言われている。がんは、さまざまな要因によって発症しているが、日本人のがんの原因の約20%が感染による。子宮頸がんもウイルス（HPV）が主な原因となっているがんとして知られている

- ◆今年4月から「医師の働き方改革」がスタート、現役医師が懸念することは？

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9d233a0625cf80ace2c8fe4d76b890a144f76c13>

医師界にも働き方改革の波が

勤務医の時間外労働の上限を原則年960時間に規制

医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を運営するメドピアは、リクルートメディカルキャリアと共同で、「MedPeer」に登録する医療機関に勤務する医師2045人を対象に、医師の働き方改革に関する意識についてアンケート調査を実施

- ◆花粉シーズン到来 ことしの飛散量は？ 対策は？

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240207/k10014350831000.html>

2月に入り、「鼻がムズムズ、目がかゆい」という声も聞こえてきました。スギやヒノキの花粉が本格的に飛び始める前に、どのように対策をすればよいのか取材しました。

- ◆コロナ後遺症オンライン研修会を開催します！

令和5年度後遺症タスクフォースの取組の報告と治療の最新情報 東京都

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/02/05/11.html>

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/02/05/documents/11\\_01.pdf](https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/02/05/documents/11_01.pdf)

開催日時 令和6年3月3日（日曜日）14時30分から16時30分まで

開催方法 WEB開催（オンラインによるライブ配信）※後日、動画でも配信予定

対象 医師、看護師、薬剤師などの医療従事者等

申込フォーム（外部サイトへリンク）

<https://www.d-wks.net/kouisyu060303/form/>

◆テレワーク先駆者が語る、柔軟な働き方を実現するための3つのポイント

：採用サポネット

[https://saponet.mynavi.jp/column/detail/tn\\_romu\\_t00\\_teleworktoprunner4\\_240206.html](https://saponet.mynavi.jp/column/detail/tn_romu_t00_teleworktoprunner4_240206.html)

目次

- 01.テレワーク成功の鍵は「働く状況の見える化」「密なコミュニケーション」「時間管理」
- 02.コミュニケーションの秘訣「仕事の話と雑談は敢えて分けない」
- 03.「時間」だけでも「成果」だけでもない、テレワークのための人事評価を構築
- 04.誰もが自由に働き、幸せになれるフェアな社会へ

◆ワークス1万人調査からみる

しごととくらしの論点：働く人の役割多重化。その実態とは (2)

：リクルート ワークス研究所

<https://www.works-i.com/project/newcareer/issue/detail008.html>

<本コラムのポイント>

同じマルチロール（多重役割）を担う正社員でも、経済的な安定度や多様な自己が職業生活に与えるポジティブな影響への認識により、生活満足や仕事展望の状況が大きく異なる安定した収入を得ていないグループや多様な自己が職業に役立つと認識していないグループで、複数の役割を担う場合に、生活満足や仕事展望が高まる傾向がある多様な役割を担うことは将来の仕事展望にプラスとなる可能性があるが、役割が多すぎる場合、経済的な安定度が低い人を中心に疲労とストレスが増大する望ましい役割を周囲と話し合ったり、一時的に役割を手放したりする役割のマネジメントが重要である

小野田 富貴子（両立支援担当）

[fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp](mailto:fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp)

中山 篤（メンタルヘルス担当）

[atsui78natsu@gmail.com](mailto:atsui78natsu@gmail.com)

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

[yukikan28@gmail.com](mailto:yukikan28@gmail.com)